
FUJITSU Server PRIMERGY 6000

基本ソフトウェア「ASP V29」の新規販売開始

2015年8月24日
富士通株式会社

当社は「FUJITSU Server PRIMERGY (プライマジー) 6000 シリーズ」の基本ソフトウェア「ASP V (バージョン) 29」を、8月24日から販売開始します。

本バージョンは、現行の FUJITSU Server PRIMERGY 6000 80B モデル、FUJITSU Cloud オフコンサービス (オフコンインフラ基本サービス)、ASP 動作機構キット (PRIMEQUEST) に適用ができます。

【ASP V29 の主な特長】

基本ソフトウェア

-「PC ファイルサーバ」では、多階層ライブラリ内の資源にアクセスする際のドメインサーバでの認証に対応しました。利便性が向上し、また柔軟なシステム構築ができるようになりました。

オプションソフトウェア

-Web ブラウザ上で端末機能を提供する「Webjet」では、ソフトウェアキーボード機能を提供します。Windows タブレットのタッチ操作や、パソコンのマウス操作によるデータ入力を実現します。さらに、絵入りのワンタッチキーパネルを定義し入力文字を割り付けることで、データ入力が簡単になり、操作性が向上します。また、当社の高セキュリティ / 高信頼無線 LAN アクセスポイントとのリモートデスクトップ接続の利用により、無線 LAN 環境で Webjet を使用できます。

-帳票を電子化して活用、効率化するソフトウェア「Systemwalker ListWORKS EE」では、PC サーバと PUSH 型の帳票連携機能を提供します。PC サーバでリアルタイムに電子帳票が参照できます。また、Interstage 製品の印刷機能を利用することで、支店などの PC プリンタにも帳票をすぐに印刷できます。

各種ソリューションセット

-基本ソフトウェアとオプションソフトウェアをセット化したソリューションセットを提供します。旧システムからレベルアップに最適な商品構成とした「レベルアップソリューションIII」に加え、容易なソリューション実現のために「帳票ソリューションセット」「WWW (ウェブ) ソリューションセットII」を提供します。また、「レベルアップソリューションセット LiteII」を PRIMERGY 6000 の小規模システム向けに提供いたします。

-ASP V29 のソリューションセットでは、「認証ログ機構」、「データ圧縮プログラム」を新たに組み込みました。全利用者の操作を記録する「証跡ログ機構」は、個人情報や重要な企業情報のセキュリティ対策の一環として証跡機能の利用が拡大しています。利用者資源を圧縮して格納する「データ圧縮プログラム」は、多階層ライブラリにデータを退避し、FTP などシステムにデータを転送する場合のデータ転送量や転送時間を削減できます。

-ソリューションセットの標準価格は、セット商品を構成するソフトウェア単品製品の積上げ価格から最大 70% 引下げています。

【税別価格と出荷時期】

- ・モデル 6380B / 6580B / 6780B 用基本ソフトウェア：13 万円～ [2015 年 8 月 27 日から]
- ・モデル 6980B 用基本ソフトウェア：187 万円～ [2015 年 8 月 27 日から]
- ・ASP 動作機構キット用基本ソフトウェア：25 万円～ [2015 年 8 月 27 日から]
- ・オフコンインフラ基本サービス用基本ソフトウェア：2 千円 (月額)～ [2015 年 8 月 27 日から]

【商標について】

Microsoft, Encarta, MSN, および Windows は、米国 Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。
